

梁川ホームだより

No.
10

●平成15年11月1日発行

(題字 佐藤理事長)

発行責任者

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 曳地 勝正
福島県伊達郡梁川町字東土橋65-1 TEL 024 (577) 6111(代) FAX 024 (577) 6115

事業内容

- 特別養護老人ホーム 梁川ホーム 定員 80名
- 短期保護施設(ショートステイ) 定員20名
- デイサービスセンター I 型
- デイサービスセンター II 型
- 梁川町在宅介護支援センター
- ケアハウス広瀬 定員30名
- 居宅介護支援事業所

〔梁川ホーム運営理念〕

安全・安心・ゆとりの

梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたたかい家庭的環境を築きます。

2003.冷夏を吹き飛ばした梁川ホーム夏まつり 7/27



太鼓の音も威勢よくお祭りの始まり、始まり



イヨー！ ノッテルネ

9月14日に来賓の方々やご家族の方をお迎えして、利用者の皆様のご長寿をお祝い致しました。

御歳90歳を迎えられた橘梅雄弓道教士七段による、祝賀礼射が静寂の中で厳かに射られ、心打つ敬老会の幕開けとなりました。

梁川町役場保健福祉課長岡崎様より、米寿と喜寿の方には記念品を、80歳以上の方には敬老祝金を手渡されました。

ご家族の方と一緒にテーブルを囲んでの敬老お祝膳は、いつもより一層おいしかったことと思います。恒例となりました、ケアハウス民謡教室菅野桃李社中による利用者の民謡の披露と、フィナーレは職員による梁川ホームAAYのよさこい踊りでお開きになりました。

ボランティアの皆様には、いつも気持ちよくかけつけていただき、笑顔での応対に心から感謝致します。

全国で百歳を過ぎた百寿者が2万人を越えたそうですが、梁川ホームの皆様にも毎日を元気に、前向きにお過ごしいただきたいと願っています。

厳かに長寿を祝う

敬老会 9/14



橘弓道教士七段の所作の1つ1つに会場は静まり返りました



お元気に米寿を迎えられ、おめでとうございます

特集9

「人間尊重の施設づくりに向けて」

—— 梁川ホーム運営理念具現化への第一歩 ——

プライバシーの確保

梁川ホームの開所は、平成九年四月一日ですが、当時においても、利用者のプライバシーの確保という考え方はありました。その考えに基づき、梁川ホームでも全居室数三十九室中十二室が個室となっていました。二人部屋は十室、四人部屋は七室です。

平成十五年度現在、厚生労働省は新型特養—全室個室で利用者八名から十名で一グループを構成する完全ユニット制の施設作りを推進しています。

これは利用者が一人ひとりのニーズに沿ったサービスを受けることが出来る為（個別処遇）に必要な環境であり、利用者の人権を尊重すれば、プライバシー



の確保は必須の課題であるとの考えに基づくものです。

ただ、現在既存の施設を運営している立場から考えると、必ずしも「新型特養」が双手を上げて歓迎できる施設なのかという疑問が残ります。

プライバシーの確保のために全室個室のユニットケアを行ないたいと指導はしても、そのために介護に従事する職員の配置基準（現在は利用者三名に対して職員一名を配置することで介護報酬が全額施設に支払われることになっています。）の変

更はなされません。

今、現にユニットケアを実施している施設では、利用者二名に対して職員一名の配置が必要であると考えられており、国の職員配置基準との人数差については、それぞれの施設ごとに自分たちの努力で埋めているというのが実状です。

もし、三対一の配置基準のままに完全個室のユニットケアを行なおうとすれば、職員不足による介護の質の低下を招くのは必定です。

また、年齢的にまだ老人と呼ぶには少し遠慮を覚えるような年代の方の場合には、個室が適当と思いますが、高齢で且つ重度の要介護状態の方に対しては、本当に完全な個室が望ましいのかも疑問です。

以前、個室をお使いいただいた方が退所されて部屋が空いたので、何人かの利用者に個



室の使用をおすすめしたところ、「二人は寂しいから嫌だ。」と断られてしまいました。

また、同様にショートステイ利用の方に個室をおすすめしてみましたが、「皆と一緒の部屋が良い。」と、個室の利用に消極的な方が多かったのも事実です。

このことから、利用者全員が全員とも個室でなければ嫌だと考えていたらっしゃるわけではないうことがわかってからは一概に全室個室が正しいとは考えられなくなりました。

とはいえ、プライバシーの確保は、利用者が一人の人間として生活していくために最低限守らなければならないサービスですから、二人部屋、四人部屋の良さを残しつつ、尚且つ個室の良さも、ユニットケアの良さも取り入れたいという欲張りな考えのもと、発案したのがベットとベットの間を仕切る大型の「直立」です。

四人部屋なら向かい合わせに



二台、二人部屋には一台の衡立を設置していくことにより、もともついているカーテンを閉めれば一人だけの空間が出来上がる仕組みになっています。

衡立は地元の木工組合に依頼して、上の方に開け閉めの出来る障子窓をはめ込んだ立派な物が出来上がり、順次居室に設置させていただいています。

一つの部屋の中で、皆と一緒に過ごしたい時には、衡立の障子窓とカーテンを開けて、一人になりたい気分の時、或いはご家族が面会にいらした際には、衡立の障子窓とカーテンを閉めて個室のようなスペースを作り出していただけます。

私もはこの事業を準個室化と呼んでいます。

介護サービスを提供する施設として、新しい施設ではないから利用者の皆さんの望むサービスは提供できないと考えてしまいうのではなく、どうしたらより良いサービスを提供できるか、今後も全職員で模索していきます。



梁川ホーム



家族と並んで

九月十四日に開催された敬老会は、ご来賓の皆様、多くのご家族の方々のご出席を賜り、また多くのボランティアの皆さんのご協力を頂き、盛大に取り行なわれました。会の中では、梁川町弓友クラブの祝賀礼射や職員によるよさこい踊りなどが披露され、たいへん喜んでいただきましたが、ご利用者の皆さんにとっては、ご家族との会食が一番のお祝いとなったようでした。ご家族と共に過ごされる皆さんの表情はいつになく穏やかで晴れやかで、毎日そんな笑顔が見られるよう、まだまだ努力せねばと感じさせられたひとときでした。



恒例となりましたよさこい踊り。一番楽しんでいるのは職員かも？



真っ赤なちゃんちゃんこ、とってもお似合い

今年の主役

○米寿を迎えられた方：佐藤トミ代様、霜山庄太郎様、鈴木テルノ様、三浦ユキ牛様。
○喜寿を迎えられた方：斎藤トキ様。
皆さんおめでとうございます。

皆さん、
いつまでもお元気で！

敬老会でお世話になりましたボランティアの皆様です。

○梁川町弓友クラブ様
○ボランティアひろせ様
○JAふれあいグループつくし会様
○ボランティアコスモス様
ありがとうございました。



息子に食べさせてもらえるなんて、うれしいね

梁川ホームが開所して七年目施設と共に入居者の皆さんも歳を重ねてこられたわけですが（職員も共に）、これから皆様若々しく、いつまでもお元気で長生きしてほしいと願うばかりです。

ご寄付により職員研修

講師は介護界の
カリスマ指導者

三好 春樹 先生

過日、匿名希望の方より、リハビリのために使つてと多額の寄付を頂戴いたしました。

この方のお身内の方が負傷された時にもっと十分なりハビリをしていれば、お身内の方も介護する方も負担が軽減されたのではないかとと思うと語られ、一人でも多くの方が、同じような悔いを残さないようにとのお気持ちからご寄付と伺いました。

このご好意をどの様な形で生かして行くか施設内で慎重な検討の結果、リハビリ関係の機械、器具等の購入も考えられましたが、必要な物品の購入は施設の予算で購入することができません。それよりも、寄付して下さった方のお気持ちをより有効に生かすには毎日利用者の皆様の介護に従事する職員の心の中、身体の中（介護者心構え、介護技術）に残した方がお志ざしに添えるのでは、との結論に達し、職員や地域の住民の方々の研修に活用させていただきますことにいたしました。

そこで、お招きする講師はどなたに・・・と検討の末、第一候補にあがった先生は、早くから「生活のリハビリ」（リハビリは理学療法師等専門家のリハ

ビリも大事ですが、毎日の生活の中での、例えば食べる・排泄・移動する・寝る・起きる等々の行動こそが身体機能を維持、向上させる最も重要なリハビリであるとの考え方を提唱され、介護界のカリスマ的な指導者である三好春樹先生です。でも、先生は今、わが国の介護界では最も人気が高く、全国各地から引っぱりだこの先生で、とても一施設の依頼に堪えていただけないだろうとの不安もありましたが、当たって砕けろの気持ちで、園長が直接先生の講演会場に押しかけ、趣旨をお話しご依頼申し上げましたところ、先生も当施設の考え方と、ご寄付下さった方の心意気に賛同していただき「何とかしましょう」と快諾してくださいました。そして超多忙な日程をやりくりしていただき三好先生が立ち上げた、「日本生活介護」という会社から選り抜きの指導者を同行し、泊まりがけで指導いただけることになりました。時期は来年の一月から三月の間、三～四日間の予定です。またその時に、施設内の職員研修の外、三好先生自身による一般住民向けの講演会もお願いしました。この講演会には近隣の介護関係者にも、案内を差し上げる予定です。詳しい日程が決まり次第、お知らせいたしますので、ぜひこの機会に、三好先生のご講演を講聴していただきたいと思います。



敬老祝膳に、「うまいぞいっ」

デイサービスセンター

集団の中の個別処遇とは

デイサービスは生活の場である特養と異なり、孤独感を解消したり、仲間づくりという目的があり、集団で行なうことが多いのですがそんな中でももちろん、人間一人ひとりの考え方が違うわけですから、個別処遇の考えも大事にしています。

今回は、そうしたデイサービスという集団の中で行なっている個別処遇について、ご説明させていただきます。

変えています。その中で、身体上どうしても人前に体を見せたくないという希望を持っている方には、一番最初や一番最後の目立たないときに入浴していただき、慣れて来た段階でうまく溶け込めるようにできる限りの配慮をしています。

食事についても、常食・刻み食などだけでなく、主となるおかずが苦手な方には別のおかずを用意します。朝こられたときに「なんとなく、おなかの調子が悪いから」とお話があればおかゆを用意します。また、基本となるサービスは十五時までの四〜六時間利用ですが、ご家族や本人の希望により延長利用をしたり、午後に病院に行くからなどの理由で短縮利用をされる方もいらつしやいます。

また、小さなことですが一週間のテーブルの配置は毎日違う位置になっています。これは入浴を持つ間や、お昼を食べるときなど少しでも気持ちよく利用していただくという配慮のひとつです。

そのほか、単調にならないように、季節を感じていただける

ケアハウス広瀬

ずっと住み続けられるケアハウスを目ざして

七月十五日に苦情解決委員の穴戸昌子様、堀江末子様、両氏に曳地園長を交じて、利用者との懇談会を持ちました。

ケアハウスにおける現状の問題点はもちろん、今後のあり方について話し合いをさせていただきました。日頃のお付き合いを通して、利用者の方が一番望まれることは、住み慣れたケアハウスで天寿を全うするまで過ごしたいということです。

いつも、ひしひしと感じています。今までは、介護が必要な状態になれば、併設の特養に入っていたりなど退去していただかざるをえないことがありました。

ご縁があつて入居していただいたこのケアハウスで、何とか最後まで見守りたいという職員の思いと、せっかく出来た介護保険制度をフル活用すれば、費用のご負担はお願いすることになります。この問題を解決できるのではないかと考えを、利用者の方に説明させていただきました。



転倒防止に健康体操教室で1.2.3



敬老会では民謡を披露、スター気分でした。

介護の必要な方への職員の手不足分は、朝、昼、晩にヘルパーさんに来ていただき何とか頑張っているという決まりました。しかし、どうにもならないのが、夜九時から早朝までは、ケアハウスにはスタッフが誰もいなくなるという現実です。もちろん、梁川ホームとの併設なのでホームには夜勤者がいます。それでも、ケアハウスだけの専任のスタッフがほしいという願いは、懇談後の課題となり検討することになりました。その結果、十月一日からシルバー人材センターより、宿直者を派遣してもらうことにしました。

介護の必要な方へという状態は解決しました。スタートして早十日、ナースコールがあつたり、夜間に訪ねて来られる方が出てきたりと、徐々に慣れるとともに安心感を持つていただけるようになりました。

介護の面での一つの心配事はクリアしましたが、これで終わりということではありません。個人のプライバシーを尊重しながらも、孤独にならずに暮らせるかといった精神面でのケアの問題などがあり、試行錯誤をしながら今後も、問題点を一つ一つ改善してゆきたいと思えます。





佐々木佐蔵さん、100歳おめでとう！
デイサービスより花を送りました。

ような行事を実施しています。
お花見や敬老会、秋には紅葉狩りなども計画しています。
集団で生活する、行動するといふのは多かれ少なかれストレスを感じるものです。利用者の皆様が集団行動を取られる場面でもその中のひとりひとりという個性を見失わないサービスを少しでも多く提供できるように努力していきたいと考えています。
「デイサービスが楽しみだよ。」利用者からのそんな一言が私たちの喜びです。
楽しいことが多いデイサービス。介護者が勧めるからだけでなく、利用者の皆様が利用したいと思えるデイサービスを目指してこれからもがんばっていききたいと思っています。



歌と踊りの鑑賞中、ボランティアで肩をもんでくれました。
「山本さん、気持ちいい」(山本マッサージさんより敬老祝いの無料サービスです)



利用者の方から職員へ踊りの指導「もっと歌に合わせて踊りなさい！」

梁川町在宅介護支援センター

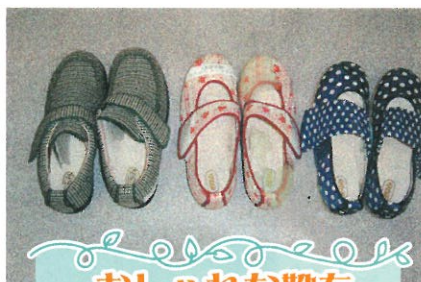


高齢者の実態把握や介護予防に、お宅を訪問させて頂き、可能な限り、自立した生活が送れるようにサポートさせて頂きたいと思っていますので、訪問した際には、どのような事でもご相談下さい。

介護保険制度が始まって三年

が経過し、介護サービスを利用されている方が年々増えていますが、認定を受けられてもまだ、サービスが使われていない方、使い方がわからない方がいらつしゃいます。また自立されている方でも生活に不安を抱えている方など百人百様です。伺った

お話は絶対他には漏らしません(守秘義務があります)のでご遠慮なくお話をしていただき、お役に立てればと思います。
さて今回はリハビリシューズの紹介をします。自分の足で歩いて土の感触を知る、外の空気を吸う、散歩に出かけ、四季を感じるために、閉じこもりがちな身体面をサポートする靴と自分自身に合う物を探してみたいかがでしょうか、在介の展示室に数多く揃えてありますので、お気軽にお出かけ下さい。



おしゃれな靴をはいて出かけませんか



他にもカラフルな靴があります

ご相談事は

TEL(577) 6111

まで

担当 佐藤美紀子

応できなくなりますので、ご相談下さい。

TEL(577) 6111

介護支援専門員

奥川 浩美
渡辺 直美
菅野 牧子
佐藤 有希





家庭介護のワンポイントアドバイス

今回は、痴呆のお年寄りの在宅での介護のポイントについて紹介したいと思います。

『上手な介護十二カ条』

第1条：知は力なり、よく知ろう（痴呆という病気・症状）

第2条：割り切り上手は介護上手（自分の役割を知ろう）

第3条：演技を楽しもう

第4条：過去にこだわらないで現在を楽しもう

第5条：気負いは負け

第6条：困りよりは開けるが勝ち

第7条：仲間を見つけて心軽く

第8条：ほっと一息、気は軽く

第9条：借りる手は多いほど楽（社会資源の利用）

第10条：ペースは合わせるもの

第11条：相手の立場でものを考えよう

第12条：自分の健康管理にも気をつけよう

『ほけとつき合う本音十カ条』

一、三歩離れてじっくり介護

二、「愛情が第一」というけれど

三、周りの言葉にまどわされず

四、家族の暮らしあってこそ介護

五、女性中心でなく男性の力も

六、「その日暮らし」の精神でできる手抜きは勇気を持つて

七、励まし合い、助け合う仲間の輪

在宅での痴呆性高齢者介護のポイント

九、「私でなければ…」とかかえこまない
十、楽しく知恵比べ（社団法人呆け老人をかかえる家族の会から引用）

これらは、実際に在宅で痴呆のお年寄りの介護にたずさわった家族の体験から紡ぎだされたものですが、同じように介護する家族の方にとっては、肩の力をほっと抜くことができることも力強く励ましてくれる言葉ではないでしょうか。

痴呆の介護の悩みを家族の中でだけ抱え込まずに、地域の相談窓口を利用してみてくださいます。各町村には介護の相談を受け付ける窓口として在宅介護支援センターが設けられています。梁川町では梁川ホームに設置されています。また最近で

は総合病院などの医療機関にも痴呆専用の外来窓口が開設されています。



お年寄りを介護するうえで困る事がありまして、お気軽にご相談下さい。

TEL (577) 61111 特養 介護士長 石塚

特別養護老人ホームの申込みについて

昨年厚生労働省より、特別養護老人ホームの入所順番について、各県に対し「優先入所」の指針について定めるようにとの

通達が出され、それを受けて福島県でも、県と県老人福祉施設協議会により「福島県特別養護老人ホームの入所に係る指針」が作られました。（平成十五年三月）

これは、入所の申し込みをいただいた順に老人ホームに入所していただくのではなく、早急に入所が必要と思われる方から優先的に入所していただくことを目的としています。

早急に入所が必要と思われる方とは、要介護度が高く家庭での介護負担が大きい方、一人暮らしで身寄りのない方、痴呆の程度が重く在宅での介護が困難な方などが該当します。

入所の申し込みをいただいた方について、三ヶ月に一度の割合で入所検討委員会を開催し、優先入所の順番を検討させていただきます。入所検討委員会のメンバーは、梁川ホームにおいて園長と関係職員その他に、入所検討の公平を期するための第三者委員で構成されます。（当ホームの第三者委員は、地元梁川町よりご推せんいただいた福祉関係の学識経験者）

また、優先入所の順番を検討する際、主に介護をされている方や担当ケアマネージャー等、ご本人と深く関わりのある方々から、身体のこと、生活の様子、介護サービスの利用状況など、ご本人に関する様々な情報を寄せていただき、参考にさせていただきます。

現在、これまで入所申込をいただいた方に、再入所申込の手続きをお願いしているところですので、詳細につきましては、梁川ホーム入所申込受付担当の岡岡までお問い合わせください。

TEL (577) 61111

ボランティアの来園状況

(平成15年5月～9月)

- ▽仙台医療福祉専門学校 志賀勝之様（梁川町）、八巻慎一郎様（梁川町）：利用者介助、会話▽白河准看護学院 斎藤いくみ様（梁川町）：利用者介助、会話▽佐野短期大学 渡邊尚之様（梁川町）：利用者介助、会話▽仙台医療福祉専門学校 八巻康子様（梁川町）、阿部様（梁川町）：利用者介助、会話▽仙台福祉専門学校 渡辺アキ様（梁川町）：利用者介助、会話▽宮城県白石市 大久保康子様（宮城県白石市）：利用者介助、会話▽福島東陵高等学校 八巻翼様（梁川町）：利用者介助、会話▽霊山町丹頂永好会様：舞踊▽梁川町駅前婦人会様（梁川町）：歌・舞踊▽梁川大正琴クラブ様（梁川町）：大正琴演奏▽大枝踊りクラブ様（国見町）：舞踊▽梁川幼稚園様：歌・手遊び▽梁川小学校児童3・4・5年生の皆さん（梁川町）：清掃・会話
- 敬老会
▽橋梅雄様（梁川町）：敬老祝賀礼射▽ボランティアひろせ様（梁川町）：利用者介助▽JAボランティアグループつくし会様（梁川町）：利用者介助
- デイサービス敬老週間
▽ボランティアコスモス様（梁川町）：歌・舞踊
- 定期
▽JAふれあいグループつくし会様（梁川町）：ボランティア喫茶▽梁川町理髪会様（梁川町）：理髪▽梁川町陶芸教室▽丹野隆雄様（梁川町）：陶芸教室▽栗野婦人会様（梁川町）：オーダー食▽梁川町将棋愛好会様（梁川町）：将棋クラブ▽栗野書道クラブ様（梁川町）：書道クラブ▽伊達方部退職公務員連盟女性部様（梁川町）：保原・霊山町・月館町の皆さん：入所者との対話▽山本マッサージ様（梁川町）：特養・デイサービスでマッサージ▽三浦理容店様（梁川町）：デイサービス理髪▽梁川俳句会様（梁川町）

【ご遺志】

（平成15年2月～4月）

- 八巻三三様（故 八巻さとい様）
斎藤正美様（故 斎藤セツ様）
渡辺 強様（故 渡辺テル様）
斎 栄様（故 斎 清様）
菅野清志様（故 菅野 太様）
本来でしたら、九号でご紹介させていただくところを、こちらの不幸によりまして今号でのご紹介となりました。
- 【ご遺志】（平成15年5月～9月）
吉田伸子様（故 阿部イナ様）
斎藤勇樹様（故 斎藤秋二様）
加藤勝男様（故 加藤金藏様）
安田昭雄様（故 安田泰雄様）
柿沼利明様（故 柿沼タカ様）
光野退次様（故 光野イト様）
秋葉美弘様（故 秋葉イチ様）
佐藤美志信様（故 佐藤信一様）

- 【ご寄付・寄贈】
斎藤正良様（川俣町）：寸志○霜山守二様（梁川町）御祝い○八巻和夫様（梁川町）御祝い○橋梅雄様（梁川町）御祝い○佐藤美津子様（梁川町）御祝い○福原ヒロ様（桑折町）御祝い○福原ヒロ様（市飯坂町）御祝い○三浦皆子様（国見町）御祝い○浦山勝夫様（保原町）御祝い○加藤電気商会様（梁川町）御祝い○中村様（梁川町）御祝い○深沢いづみ様（梁川町）御祝い○柿沼利明様（桑折町）御祝い○梁川駅前婦人会様（梁川町）御祝い○ティッシュボックス○大枝踊りクラブ様（国見町）御祝い○菅野健康様（国見町）御祝い○船生カネ様（梁川町）御祝い○千手観音の鐘の台座